

西京区に住む人、働く人、訪れる人の小さな愛読書

<https://www.facebook.com/nishikyojikan/>

vol.02  
秋号

2017

TAKE FREE

無料

# nishikyo-jikan 西京じかん

いま、このまちで過ごす“じかん”  
いままで、このまちを育んできた“じかん”  
これから、みんなで作って行く“じかん”

西京じかん

2017年秋号

TAKE FREE

●発行日 2017年10月1日

●発行元 西京じかん編集部

●発行責任者 林佳代子

〒615-8265 京都市西京区山田御道路路町3-37

●E-mail nishikyojikan@gmail.com

●TEL 075-320-2597

●FAX 075-320-2597

●本誌記事の無断転載を固く禁じます。

●掲載した画像は取得時現在のものです。



【表紙について】  
笑顔図鑑に登場してくれた近藤れんくん(3)。初めてしぶ柿文庫に来た時は、お母さんに隠れて遊びに行けな  
い…シャイな一面もありましたが、今ではカメラマンのリクエストに応じてこんなにお顔がでるほどに。

## 西京じかんの記事になりそうな



ヒト



モノ



場所



写真

大募集

西京のステキ、不思議、不気味…ずっと気になっている謎なスポット、ヒト、  
物体を調べてほしいなどなど編集部におまかせください！西京区の食材で  
作った料理「西京めし」を紹介して下さる方も絶賛募集中です。

ご応募・お問い合わせの際は、お名前、ご住所、ご連絡先のメールアドレス、  
電話番号を明記ください。

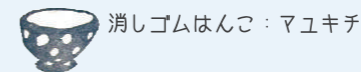
※採用・不採用ともに情報資料、写真などの返却はできません。

情報提供や各応募、広告の申し込み等、すべてのお問合せは  
「西京じかん」編集部まで！

〒615-8265 京都市西京区山田御道路路町 3-37  
FAX 075-320-2597 メール nishikyo.jikan@gmail.com

### 編集後記

おかげさまで第2号を発行することができました。  
ご協力いただいたたくさんの方のみなさま、ありがとうございました。



【お詫びと訂正】  
創刊号に以下の誤りがありました。お詫びし訂正いたします。  
誤 Fax 075-390-2597 正 Fax 075-320-2597 (16頁、17頁)  
誤 中学2年生 正 中学1年生 (17頁 四コママンガに挑戦…)

## 西京じかん 応援団 大募集

次号ができるかはみなさま次第!?  
「西京じかん」の応援団を募集しています。

【個人応援団】  
年会費 3,000円/一口  
【企業・団体応援団】  
年会費 10,000円/一口

毎号ご希望部数の「西京じかん」をお届けいたします。

## 広告大募集

企業・店舗のPRや教室のご案内等、  
「西京じかん」に掲載しませんか。  
サイズはご希望・ご予算に応じて  
調整いたします。  
1行広告も募集しています。

佐藤養鶏場では新鮮卵や地鶏を販売していて、お散歩ついでに買って行く地元の人たちも。卵の自動販売機もあります。お菓子も買える～～。



「新鮮卵ですよ～」



お名前を呼ぶと振り返ってくれるお利口さんのトイプードル(2歳)、青いハーネスが宇宙(そら)というお名前にぴったり。

「西京 吹き矢の旅」次はいずこへ???3号につづく?



畑、田んぼ、山、お花たち。のどか～



ここは猪がよう出るので、みな猪よけにいろんなことやっています。

休耕田を借りて、週末にいろんな作物を作っている中田 五男(イツオ)さん(69歳)。冬瓜の支柱を作っている最中です。「向日市から来てまして。もう6～7年になります。はじめは小さい場所やったのにだんだん大きくなって(笑)。」猪よけに猪のうなり声や犬の遠吠えが鳴る機械もあるんだそう。知りませんでした!



住宅街に入ると、水ききをしている男性発見。

週末に自宅のお庭で家庭菜園を営む久世 耕嗣さん(36歳)です。キュウリ、オクラ、ミニトマト、ナスビ、レモンバームも♪ ひなたちゃん(10歳)、みさとちゃん(6歳) 姉妹もお父さんの菜園が大好き。「ドクダミは勝手に生えてくるんです」

～簡単!ドクダミで虫よけ液を作ろう～

- 庭に勝手に生えては増えていくドクダミ、雑草だと捨てていませんか? ドクダミには殺菌成分が含まれていて、子どもにも安心な虫よけ液などいろいろな活用法があるんですよ。
- 作り方
  - ①ドクダミは洗って乾かしておく。
  - ②根っこは切り落とし、茎、葉、花を適当な長さ切る。
  - ③アルコールでふいておいた空き瓶に②を詰めて、ホワイトリカー(35度以上)をひたひたになるまで注ぐ。
  - ④2～3カ月置いて琥珀色になったら出来上がり。スプレー容器に入れてもいいし、コットンに肌についたとしてもOK。虫よけだけでなく、虫さされの痒み止めとしても使えますよ♪ 肌の弱い人は水で薄めて使うのがおすすめ。防腐剤など添加物を入れていないので冷暗所に置いて早めに使い切りましょう。 ※肌に合わない場合は使用を中止してください。



大原野上羽町 西京区



ステキな出会いがありますように。

Go!



★ ひなたちゃん、みさとちゃんは「西京じかんチャーム100番」をゲット。撮影させていただいた方に液にしているので、記念すべき100人目なのです。



二本目の巻



▲まずは吹き矢が刺さった場所へ。大原野こども園の南のほう、多分このあたり。

西京吹き矢の旅

西京区の日常に会いたくて、ダー!いや吹き矢の刺さった場所に出かける「吹き矢の旅」

手製の吹き矢、今回刺さったのはここです!



# まちかど 笑顔図鑑



**有堀さん親子**  
左から こうちゃん(年少 3歳)、たいちゃん(1年生 6歳)、ななちゃん(3年生 8歳)。毎回、ママと一緒に来ているそう。文庫に来るきっかけはAコープで開かれた「新林子育てサークル たんぼぼ」で知って。



## そーちゃん・さーちゃん兄妹

兄 そーちゃん(2年生 8歳)「本がいっぱい大好き」(ドッチボールも上手い。真剣な目をしてボールを投げます)  
妹 さーちゃん(年長 6歳)2人とも夢はサッカー選手。この日はお休みでしたが、小5のお兄ちゃんもいます。



兄 しゅんくん(2年生)  
漢字が好き。



弟 れんくん(年少)  
リンゴが好き。

## 左 かりんちゃん 右 Wちゃん

4年生の仲良し二人組。かりんちゃんは左の近藤兄弟の姉。夢はパティシエ。「魔界屋リリー」シリーズが好き。Wちゃんはお姉ちゃんが先に来ていて、自身は保育園の時からです。絵本がいっぱいあって、いろんな事ができて楽しいので、用事のない時には必ず来ています。



## なつみちゃんとSちゃん

中1の仲良し二人組。2人ともすすんで小さな子どもたちの面倒をみるお姉さんの存在です。

左 なつみちゃん。部活はソフトテニス部。夢は看護師。保育園で片山さん(新林保育園で保育士として働かれていた頃)と出会い、小学2年生のころから来ています。

右 Sちゃん。Wちゃんの姉。部活はバスケットボール部。文庫は、「ここ来ると皆が明るくなる遊び場」



西京区のみなさんの笑顔、笑顔、笑顔を集める笑顔図鑑。  
今回は、洛西で子どもたちに自宅を開放して10年余、片山さんの「しぶ柿文庫」にお邪魔しました。

# 西京すてぎ発見

よその子も育てるのが自然  
地域の子とも寄り添いつづけ…

自宅開放「しぶ柿文庫」代表  
片山 静江さん(66)



る片山さん。

「しぶ柿文庫」のほか、児童館や乳幼児施設でも地域の子どもらと絵本や歌を通しての交流を続けています。

※注1「保母さん」  
今こそ男性保育士さんもたくさんいますが1980年代までは女性ばかりだったこの職業。1999年4月に「保育士」に改称されたのです。

洛西ニュータウンの新林池公園から歩いて2分ほど。静かな佇まいをみせる住宅街の一角に、子ども図書館ともいうべき「しぶ柿文庫」があります。今でいう「住み開き」で自宅を開放して、月に2度、子どもたちを迎え入れているのが今年66歳になった片山 静江さんです。

## 子どもに関わり続け…

「昔はPTAの役員をやっていた、その活動のあと子どもたちと楽しめれば、と思ってました」と片山さん。若いころ、京都の養護施設の保母さん(注1)として子どもとの関わりを始めた片山さんは、平成に入り西京区に引っ越してか



## 遊びから社会性も

「昔から、よその子どもも育てるのが自然だったですから。その時、その時で、年齢を越えた子ども同士でいるんな遊びを考えて。社会性も身につけてくれていると思います」と、自分のお子さんが大人(26歳の息子さんが1人)になっても、いつまでも「子育て世代」の気持ちで、屈託なく笑顔を浮かべ



言葉の力で人に勇気を届けたいー  
10周年記念の個展を開催

## 西京いんな

### 人みじかし



「そうだ、路上詩人になろう」とある日突然ひらめいて、京都市内の路上に立ったのが10年前の2007年。桂在住2児の母でもあるchaiさん37歳の時でした。書の経験も何もないまま、「あなたを見てインスピレーションで言葉を書きます」と道行く人にメッセージを書くことを始めたのです。

## 4万人以上との出会い

「自分の人生を大きく変えたいと思っていたときでした。最初路上に出た時は、もうドキドキです。でもドキドキする、緊張するといふことは、それが自分にとって大切なことであることの証。どうでもいいことには緊張しませんものね」と振り返るchaiさん。彼女の書くメッセージは「涙の



後、笑顔になれる」と評判を呼び、ライブパフォーマンスや講師など活動の幅を広げ、これまで4万人以上に言葉を贈ってきました。そして、10年間で出会った人々への感謝の気持ちを込めて、7月16日から18日の3日間、地元の西京区にある龍淵寺(檜原)を会場に個展が開かれました。



## 筆一本で生み出す世界

会場の壁面には1000日間書き続けることに挑戦した「1000筆」の作品がびっしり。また、言葉だけでは表現できないこともある、と新作では絵にも力を入れているとの

何も無い白い紙にchaiさんが筆を走らせるところに命のようなものが宿り、多くの人々を感動させる世界となるのです。「これからも、夢を持って進む人を応援するメッセージを書き続けたい」というchaiさん、10年の節目を越え、また心新たに言葉に向き合う日々が続きます。



詩人 chai(チャイ)こと  
安楽 恵美子さん(47)



このまちの景色を守り、歴史をつなぐ人たちがいます

# 西京たからもの図鑑

ご近所つながりで引き継がれた  
珍しい照明器具のコレクション



での灯火具の移り変わりを  
分かりやすく展示している。



「田畑らんぶ館」を守る  
田畑 正勝さん(73)

閑静な住宅街の一角に静かに佇む、白壁通りのクラシックな建物「田畑らんぶ館」だ。今回は、オーナーである田畑正勝さんにお話を伺った。

「田畑らんぶ館」の前身は、昭和59年に開館した「宮岬らんぶ館」にあたる。当時の館主であった宮岬(みやくさ)万寿夫さんが長年にわたりコツコツ収集した



▲色とりどりのランプ。

ランプを展示したのが始まりだ。収集品第一号は、かつて宮岬さんが神戸の街で出会った「ハリケーンランプ」。このランプが、灯火具の向こうにある人たちの暮らしに思いを馳せる、収集のきっかけになったそう。

西京たからもの景色

## 田畑らんぶ館

### 田畑らんぶ館

京都市西京区山田  
六ノ坪町8-40  
075-391-1501

【要予約】開館日・開館  
時間は予約により不定  
入館料：無料



▼ハリケーンランプ



▼キャメルランプ

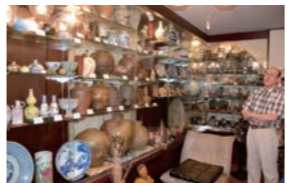


江戸時代の旅人の「枕行燈」

共通の趣味が「つなぎ、  
引き継がれた」「価値」

現在の館主である田畑さんは、宮岬さんと同じ地区に住むご近所同士だった。「宮岬さんの方から最初に声をかけてくださった。私もアンティーク収集が趣味などで、お互いのコレクションを見せ合ったり、親しくさせていたっていました」平成14年12月、宮岬さんの転居に伴い愛着ある収集品を離散させた

くないでできれば信頼する人に任せたいと相談されたことから、建物と収集品全てを買い取る形で



上 飾り窓は季節ごとに一新。  
下 こちらは田畑さんのコレクション。  
陶器や年代物のカメラ・おもちゃまで！



絵と文 阿部 夏希

# 西京はじめてびと

初めて何かをするときは、とても勇気がいるものです。今回は、子ども向け洋裁教室を初めて開いた向井由貴さんと、初めて針を持った子どもたちに密着！先生も生徒もわくわくドキドキ、ちょびり不安…。さてどんな教室になったのでしょうか？

## 世界で一つのスカートづくりに挑戦

8月、「夏休みの自由研究にぴったり！世界で一つだけのオリジナルスカートを作ろう」をテーマに、子ども向けの洋裁教室が開催されました。5日と12日の土曜日コース、6日と13日の日曜日コースに分かれ、あわせて17人の小学1年生から4年生までの女の子たちがスカートをづくりに挑戦しました。

講師は子ども服デザイナーの向井由貴さん。0歳、5歳、7歳の3児の母として子育て真っ最中です。

「大人向けの洋裁教室は、これまでやったことがありませんが、子ども向けはまったくの初めてなので、どう

なるか私もドキドキしています」と向井さん。  
会場は、今春オープンしたサービスタ付き高齢者向け住宅「トートイス京都桂川」の地域交流サロンです。

## 針を持ったことがないけど…

初日集まったのは、1人をのぞいては針も持ったことがないという子どもたち9人。道具の使い方や片付け方、怪我をしないための注意点などの説明から入ります。

緊張した様子の子もたちに、「ゆっくり気をつけてやればい

分を選んできた生地にはサミを入れる表情は真剣そのもの。その後、なみぬいやミシンの使い方を習い、いよいよ縫い始めます。

キッズ洋裁教室を開催  
向井 由貴さん(33)



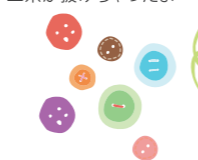
▲穴をあける位置、絶対まちがっちゃダメ。



▲お気に入りの生地にハサミを。



▲糸が抜けちゃったよ～



▲真剣

## 子どもたちに変化が！

迎えに来たお母さんたちは、途中までできたスカートを見て「こんなことができるようになるなんて」と感激の様子。家に帰ると、ぬいぐるみがほつれているのを自分で直した子もいて、たった2時間足らずの経験が、子どもたちに変化をもたらすことに保護者も向井さん自身も驚いています。

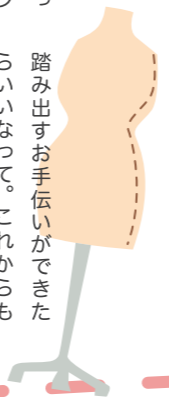
1週間後の2日目。ウエストベルトを付け、ゴムを通し、無事に全員がスカートを完成させ、プチファッション

## 夢への一歩、そのお手伝いを

向井さんは、デザイナーになる夢を持ち、洛西高校時代から大人に一人混じって洋裁教室に通いました。その後、大阪の服飾専門学校を卒業、東京の子ども服ブランドのデザイナーになり、

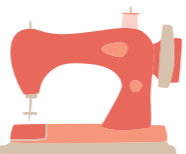
夢を実現させました。結婚を機に退職した後はフリーのデザイナーに。元同僚と『Pöcci!!』(ポッチ)というハンドメイドのベビー&キッズ雑貨ブランドを立ち上げ、ライフスタイルが変わっても好きな道を歩み続けています。

「今回の生徒たちの中にも、デザイナーになりたいと言っている子たちがいいます。今度は私がその夢への一歩を



踏み出すお手伝いのできたらいいなって。これからも冬休み、春休みなど定期的に開催していけたらと思います。」

向井さんにとっての新たな一歩、子どもたちの一歩、どちらもキラキラまぶしい2日間でした。



『Pöcci!!』公式サイトで今後の予定など発信中♪

<https://poccibaby.jimdo.com/>



▲なみぬいの練習。



▲手取り足取り。



▲カタチができてくると自然と笑顔が。



# この人にきく西京のまち

毎日暮らし、通り過ぎていくまちのこと、意外と知らないってことありませんか？このコーナーでは、西京区のまちを愛するキーパーソンに、その魅力や自身の思いを語っていただき、まち歩きのおすすめスポットをご紹介します。さあ、「西京じかん」片手にでかけてみませんか。

## 独自の感性で まちの魅力を伝える

西京区で2番目に広く、「西芳寺」や「松尾大社」といった千年以上の歴史をもつ寺社や史跡、豊かな自然が魅力の松尾学区。今回は、そんな松尾学区を中心に、様々な方法でまちの魅力を発信している笹川一（ささかわはじめ）さんが案内人です。

お会いした場所は「飛龍山玄忠院」。夏にはノウゼンカズラが綺麗に咲くお寺で、天井まで渡る龍の壁画と立派な襖絵があります。お寺の外観からは想像できない大きく力強い飛龍の壁画は、一見の価値があります。

檀家として、このお寺と長く親交があった笹川さん。もともと多くの人にお寺の魅力を知ってもらおうと、お経の代わりに玄忠院の龍の絵を写す「写龍会」という催しを始めます。凛々しくなったり可愛くなったり、描く人の感性によって龍の表情や世界観が変わるユニークさが好評となり、区の市バスツアーの体験企画でも取り上げられました。

「お宝」を探すまちあるきを企画する「西京たんぼうクラブ」のメンバーを務めるほか、ご自身のカメラの腕を活かして定期的に写真展を開催したり、地元にもつわる伝承に独自のストーリーやエッセンスを加え、歌や紙芝居をプロデュースして地域の行事で発表したりと、多彩な活動をされています。

玄忠院の表門にある掲示板の標語も笹川さんが担当するようになり、「通りすがりにみんなが見てくれるでしょう」

笹川さんは「飛龍」伝説、「京のシルクロード」など、様々な文献を手がかりに、独自の感性で歴史をひも解いていきます。「歴



▲玄忠院の掲示板。「自分の中の仏に気づく」など、はっとさせられます。



「写龍会」仕掛人。「玄忠院」の掲示板の標語も担当。  
笹川 一さん(72)

史を証明はできないけれど、想像はできる。一つの説として、まちの魅力とともに伝えてゆくの面白いです。

## 「写龍会」にチャレンジ！

**飛龍山 玄忠院**  
京都市西京区松尾  
上ノ山町33  
075-381-3626

【写龍会】  
要事前予約  
約30分、500円



左 玄忠院の壁画 右上・右下 写龍会の様子。

## 古代のロマンス 西芳寺川古墳めぐり

お話を伺った後は散策タイム！西芳寺川の沿道へ移動し、西芳寺川古墳を目指します。「山の神さん」に道中の無事をお祈りしてから、林道をどんどん進みます。ヒノキの木漏れ日がキラキラと輝き、川のせせらぎは心地よく、素敵な道中です。

しばらく進むと、小さな堰がいくつもあり、川遊びをしている親子連れのグループが。涼しくて気持ちよさそう！



左上 土色のかえる 右上 古墳の中にこうもりが！  
左下 川魚「カワムツ」 右下 オーロラ色のとかげ

▼道中の小さな谷には名前がつけられていました！

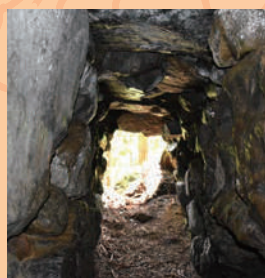


▲子どもたちの川遊び風景。

さらに30分ほど歩き、西芳寺川古墳に到着！川から山の斜面に向かってちよっと上ったところに、洞穴のように入口がぼっかりと開いた小さな墳丘がいくつも見えます。

西京区を流れる桂川の右岸は古墳などの史跡が多い地域ではあります。この一帯の西芳寺川古墳群はなんと43基もの墳群があります。「掘ればもっと出るだろうと言われていました。100以上はあるんちゃうかな」とのこと。ハイキングに来て新しい古墳を発見！なんてこともあるかもしれませんね。

5基ほどの古墳は「ボウジノウ古墳」と呼ばれ石室が綺麗に残っており、人が中に入れる状態のものが1つだけあります。中はしっとりとしていてひんやり涼しく、千年以上も前に造ら



▲古墳の内側から撮影。

れたものとは思えない、不思議な感じがしました。「1人で中に行くと、連れて行かれるんちゃうかってね」と、冗談交じりに笹川さん。「集落から離れた場所にこのような古墳がたくさんあるのはとても不思議。秘境のようなこの場所で行われていたのか」

最後は松尾のご神木と呼ばれる樟の木へ。樹齢推定500年の大木です。長い間この土地の暮らしと共にあり、大切にされてきたのがわかります。

型にはまらず、様々な方法で地元の魅力を発信してゆくパワフルな笹川さん。地元の人たちにもあまり知られていないことがたくさんある。後世に伝え、守っていくためにも、もっと若い人たちとの交流ができれば！

山に入る全ての人を守護してくれる



山の神さん

古代世界へタイムスリップ気分♪



西芳寺川古墳

推定樹齢500年の大木



ご神木「樟の木」

# 西京めし



西京区の食材を使ったお料理を「西京めし」と勝手に名付け、お料理上手な西京区の方に作っていただきレシピも教えていただくという新企画。

第1回目は、大原野の上田農園さんが丹精込めて作った新種のじゃがいも「インカのひとみ」を使った、「おじいちゃんのクレープ」を紹介します。

## 上田農園自信作「インカのひとみ」とは？



インカのひとみは、高級レストランなどで使われ話題のじゃがいも「インカのめざめ」の、濃厚でこくのある旨味はそのままだに、より大ぶりて扱いやすく改良した品種です。大原野にある上田農園の上田泰史(やすふみ)さん(39歳)が、飲食店などからの要望をうけて作り始めました。



▲「コクのある旨味をぜひ味わって」と上田さん

「土づくりや肥料など栽培技術を勉強して、味を良くするためにいろんなことを試しました。手間やコストがかかっているの普通のじゃがいもよ

り高価になっていますが、もっとたくさんの人に食べていただきたいですね」

現在は、祇園や東京の料亭、レストランにおろす他、「マルシエ大原野」でも旬の6月から7月にかけて販売しています。自分の作る野菜に誇りと自信を持つ上田さん、店頭で語るお話からは野菜への愛情がにじみ出ています。美味しい食べ方なども教えていただけますよ♪(売り切れの際はあしからず)

## 四代受け継がれる優しい一品

今回「西京めし」に協力いただいたのは、上桂在住の上内玲伊子さん(44歳)と娘の結子ちゃん(小学3年生)。「おじいちゃんのクレープ」というネーミングは、玲伊子さんのおじいさまが娘(つまりれいこさんのお母さま)のおやつによく作っていたところから。昭和20年代にじゃがいもをふかすだけでなくクレープに包むなんてハイカラなおじいさま♡そのレシピは、子どもに手作りのおやつを、という気持ちとともに

に娘、孫、そしてひ孫の結子ちゃんにまで受け継がれています。



▲玲伊子さんのハイカラなおじいさま、故 永野源三郎さん

今回は「インカのひとみ」を使い、見た目はまるで黄身あんのようで味も濃厚。じゃがいもの旨味を味わえる優しい一品となりました。もちろんスーパードンなどで手に入る男爵いもでもオケケです。シンプルなお料理なのでアレンジもいろいろできそうです。ハムやチーズ、ツナを混ぜてもよし、具をマヨネーズであえてもよし。はちみつやバターも合います。朝食に、おやつに作ってみては？

## 母娘で試食



## おじいちゃんのクレープ

じゃがいものおんを作る。

- ① じゃがいもを洗う。
- ② ラップをしてレンジで温める。火が通ったか竹串で確認する。
- ③ 少しさましてから皮を剥く。
- ④ つぶす。(つぶしすぎないように)
- ⑤ 砂糖を入れて、さくっと混ぜる。

500wで4~5分。途中でひっくり返す

インカのひとみ



クレープ生地を作る。ばらばらになるようなら牛乳でしっとりさせる。

- ⑥ ボウルに小麦粉、片栗粉、塩を入れ、さくっと混ぜ、水を加えて泡立て器で混ぜる。
- ⑦ 中火でフライパンをあたため油をひく。
- ⑧ おたまで生地を流し込む。少しのダマは気にしない(^O^)
- ⑨ 生地をふちを持って裏返す。火傷に注意。手を冷やしておいて手早く。
- ⑩ 両面焼けたらお皿に移す。 **※熱そうならフライ返しを使ってね。**



包む～

- ⑪ じゃがいもあんを入れて包む。生地が温かいうちに。



やさしい味でおなかも満足!

## 『おやつわ』

玲伊子さんは上桂駅からほど近い自宅で「おやつわ」というお店を開いています。お子さんに手づくりのおやつを食べさせたい、という想いで始めた小さなお店。ドーナツやシフォンケーキなどの手作りスイーツが並びます。不定期営業。オープン日や出店情報などはブログでチェックを。 検索 [菓子工房 おやつわ](#)



## 材料 (3コ分)

- じゃがいも 150g (大1コ)
- 砂糖 15g
- 小麦粉 100g
- 片栗粉 35g
- 水 240g
- 塩 少々
- 油 少々

## 大募集

「西京めし」に食材を提供いただける方、料理を紹介いただける方を募集します！条件は、(1)一般家庭でも作れる難しすぎないお料理であること。(2)内容確認などメールやLINEなどでやりとりが可能なこと。お待ちしています〜

「西京めし」を作ったよという方はぜひ、facebookに投稿を！ 検索 [facebook 西京じかん](#)

上内 玲伊子さん 結子ちゃん

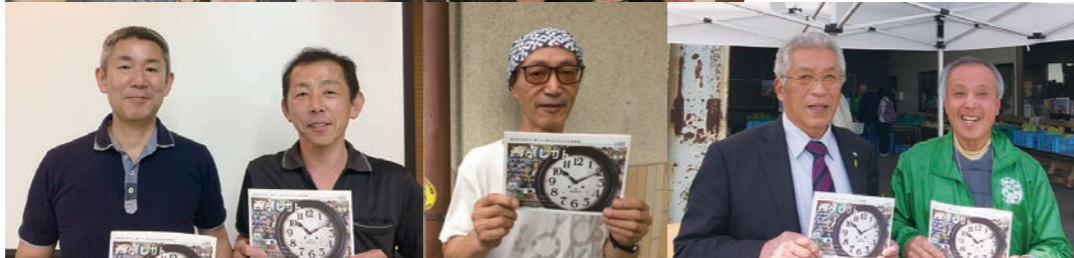




ひたすら、秋満喫の巻



さく・え 咲良&芽依



今年3月になんとか発行できた『西京じかん』創刊号。取材に協力いただいたみなさん、関わってくださったみなさん(ごく一部)を創刊号とともにパチリ。これからも応援よろしくお願ひします〜



西京びと



スタート!



ナニナルカナ? ナニナルカナ?



# にしきようわらしべ

みんなが知ってる「わらしべ長者」現実の世界でやってみたら…?

西京じかんで「わらしべ長者」をやってみたら、どんなモノに交換されていくのでしょうか? ワクワクどきどきで始めたこの企画、「漢字のくるみぼたん」西”からスタートしました。そして、交換に手を挙げて下さったのは…

西のぼたん  
何につけようかな?



わらしべ人  
トノイケミキさん(46)

トノイケさん自身の著書『雑貨店おやつへようこそ 小さな店のつくり方 つづけ方』。お子さんの成長とともに桂で営んでこられたお店づくりの様子が、丁寧に綴られています。地元ネタがちりちり出てくるのも西京区民としては嬉しいところ♪次は何になるのか? 「ぜひ私の〇〇と交換したい!」という方、ご応募お待ちしております!!

桂で「雑貨店おやつ」というお店を経営されています。ユニークな企画展や講座も盛りだくさんで、何度足を運んでも楽しいお店です。

## 応募方法

交換対象品の説明と画像(物はまだ送らないでください)、お名前、ご連絡先を編集部まで送ってください。(メール、郵送どちらでも可) 応募くださった方の中から編集部が交換対象品を選び、ご連絡いたします。フェイスブック (<https://facebook.com/nishikyojikan/>) から応募できます。

## 応募先

西京じかん編集部 〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37  
Fax 075-320-2597  
E-mail nishikyo.jikan@gmail.com

## 応募資格・ルール

わらしべには応募資格があります。ズバリ「西京区にゆかりのある方」です!例えば、西京区に住んでいる、西京区の職場、学校、施設に通っている。西京区出身。好きな人が西京区にいる。西京区に行くことが条件です。

応募締切

2018年  
1月10日(水)  
必着

# 西京探索マップ

西京区つて意外と広い？自然あふれる西山の風景を歩いてみませんか。

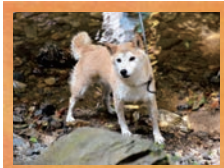


今号の  
「西京吹き矢の旅」  
ささったのは大原野学区の  
大原野上羽町!

<p><b>MAP ①</b> 松尾大社 フリーマーケット「亀の市」</p> <p>日時: 11月23日(木・祝)、12月10日(日) 9時~14時半 場所: 松尾大社(阪急電車松尾大社駅下車すぐ) 問合せ: ☎075-871-5016 松尾大社</p> <p>「亀の市」の「亀」は、松尾大社の神使が亀であるところから。掘り出し物がみつかるかも!本殿前にある健康長寿にご利益があるという撫で亀さんを撫でるのもお忘れなく。</p> 	<p><b>MAP ②</b> らくさいマルシェ</p> <p>日時: 毎月最終土曜日 10時~16時 場所: ラクセー又広場(洛西高島屋前・洛西ターミナル前) 問合せ: rakusaimarche01@gmail.com</p> <p>個性豊かな手づくり品、大原野の新鮮野菜やグルメ、などが並びます。ライブあり、たけにょん登場ありの老若男女が楽しめるマルシェです。</p> 	<p><b>MAP ③</b> マルシェ大原野</p> <p>日時: 毎月第1・第3土曜日 9時~12時(売り切れ次第終了) 場所: JA京都中央大原野支店前大原野灰方町179 問合せ: ☎075-331-0211 事務局</p> <p>地域の人みんなで計画を進め、定期開催されています。大原野の新鮮、安心、高品質な農産物や加工品をゲットできます。生産者の方のお話もお楽しみのひとつ。</p> 
<p><b>MAP ④</b> 第二回檜原のささき市</p> <p>日時: 11月12日(日) 13時~19時 場所: 檜原石畑町から山ノ上町に至る旧街道一帯 問合せ: ☎090-9210-3570 檜原町家灯籠会事務局</p> <p>かつて繁栄していた宿場町を感じながら、軒先に並ぶ店や和のイベント、ワークショップを楽しめます。♫はプロジェクションマッピング♪</p> 	<p><b>MAP ⑤</b> 風土・food大原野2017</p> <p>日時: 11月25日(土) 10時~14時 場所: 大原野神社(阪急バス・市バス南春日町徒歩8分) 問合せ: ☎075-332-6444 なんやかんや大原野推進協議会</p> <p>大原野の美しい風景の中、美味しいものを味わい尽くそう!屋台に農産物即売、紅葉、寺社などみどころ満載です。</p> 	<p><b>MAP ⑥</b> 西京区民ふれあいまつり</p> <p>日時: 11月18日(土) 10時~15時 場所: 京都市西文化会館ウエスティ 問合せ: ☎075-381-7197 同会館</p> <p>大人から子どもまで区民がとどろ一大文化イベント。ユニークな企画やステージ発表、飲食コーナーなどなど。</p> 

🌸 西京かわいいおでかけさん 🌸

川遊び、楽しいわん!




7月のとある日曜日、「この人にきく西京のまち」の取材で西芳寺川に沿って歩いていると、川遊びをしているわんちゃんが。「モカちゃん」というお名前だと一緒にいた女の子2人が教えてくれました。連れてきてもらってよかったね、モカちゃん♪

**MAP ⑦** 西京ふれあい吹奏楽祭

日時: 2018年3月11日(日) 9時~17時(予定)  
場所: 京都市西文化会館ウエスティ  
問合せ: ☎075-381-7197 同会館

例年の区内中学8校に加え、今年度から小学校5校の吹奏楽部が参加します。フレッシュな演奏をお聴きください♪



(ご注意) 掲載情報はすべて2017年9月現在のものです。詳しくは各施設へお問い合わせ下さい。

# 西京おでかけ情報 <2017年11月~3月>

秋冬のおでかけは、まだ見ぬ西京区の魅力を発見しに行きませんか?